

3 さまざまな防犯活動

皆さんは、「犯罪者が好む環境」があるのをご存じでしょうか？

人目に付くことを嫌う犯罪者や不審者が「住民の無関心」を感じる街は、狙われやすいのです。お住まいの地域で、このようなことに思い当たりませんか。

- ① 落書きや粗大ゴミなどが放置されている。
- ② 路上駐車や放置自転車が多い。
- ③ 植え込みや植栽が手入れ不足で荒れている。



このようなことが当たり前になっている街は、犯罪者や不審者が入り込みやすくなります。そうならないために、目的別、方法別に次のような防犯活動が挙げられます。

(1) 一般的な防犯パトロール

- (ア) 昼と夕方、交番の脇に集合し、地域内をパトロールする。
- (イ) 午前の部、午後の部とメンバーを変えて、近所の公園に集合し、地域内をパトロールする。

(2) プラス防犯

日々の生活に防犯の視点をプラスすることで、犯罪が起こりにくい環境をつくり、周囲の人びとの安全を守る活動です。

「あいさつ」を交わすことや、「周囲への目配り」、「見守り」によって、不審者等が近づきにくくなり、犯罪が起こりにくい環境になります。

このほか、「プラス防犯」に関する情報を、千葉県ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

参照

千葉県ホームページ
「わたしとみんなの安全を守る「プラス防犯」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seikouan/bouhan/anzen/plusbouhan.html>



ア まずは「あいさつ」から

ご近所さんや、子どもたち、ボランティアさんを見かけたら「あいさつ」をしましょう。

まずは、目を合わせてニッコリ、軽く手をあげるだけでも構いません。

イ 周囲の様子に目を配る

危険と思われる場所などがあったら、家族や地域の人びとと共有しましょう。

また、不審な人物や車を見かけたら、声をかけたりせず、110番通報しましょう。

ウ ご自宅やその周辺で「ながら見守り」

通学中の子どもたちを、家から見守りましょう。玄関はもちろん、窓やベランダ、縁側からでも構いません。

登下校の時間に、花の水やりや清掃を試みましょう。朝7時台と、午後の帰校時間帯の3時から5時ころ、意識して外での用事をしながら子どもたちを見守りましょう。買い物や散歩も良いでしょう。

エ わんわんパトロール運動

千葉県獣医師会では、千葉県警察本部と協力して地域ぐるみの防犯活動を推進するため、登下校の時間に合わせて、犬の散歩をしながら子どもの見守りに協力する「わんわんパトロール隊員」を募集しています。隊員登録の方法は、ホームページをご覧ください。



参照

千葉県獣医師会ホームページ
「わんわんパトロール運動」

<https://www.cpvma.com/wanwan-patrol.html>



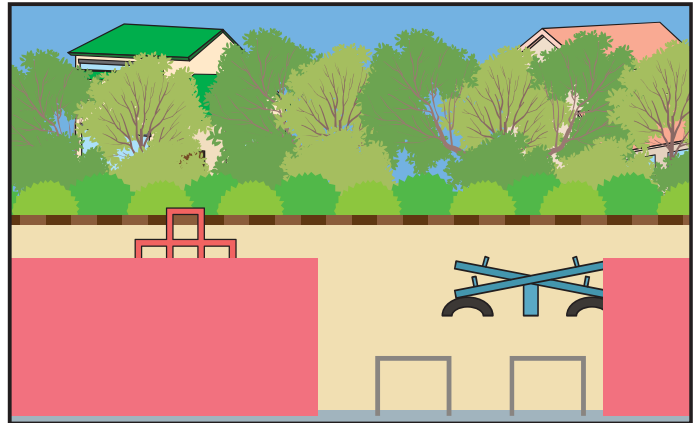
(3) 一戸一灯運動

一軒一軒のお宅で一つの門灯をつけることで、地域全体を明るくし、犯罪の起こりにくい環境をつくる方法があります。ご近所で助け合い、地域の連帯感を高め、犯罪をしようとする者を寄せ付けないまちにしましょう。

【参考】プラス防犯 チェックポイント

● 公園などの遊び場

子どもたちが安心して遊べるように注意が必要です。公園から周囲の家が見えない場合は、誰からも見えにくいいため、犯罪が発生する可能性が高くなります。



● 高い塀が並んでいる道

高い塀が並んでいる道は、家にいる住民からの視線が行き届かないため、犯罪が発生しやすい場所となる可能性があります。

● 人が多い場所

人が多い場所は、一人ひとりの意識や関心が分散するため、犯罪の発生や不審者から子どもへの声かけなどが気づかれない可能性があります。



● 空き家・廃屋など

空き家や廃屋などは、犯罪の温床となりやすい場所です。落書きやゴミが多いと「住民の関心が薄い地域」と思われ、犯罪が発生する可能性が高くなります。